

事前評価シート

担当課 担当名	道路建設課 国県道担当
作成年月日	平成26年 9月30日

事業名	道路事業（防災・安全交付金事業）		
箇所名	一般国道219号（岩下工区）	市町村名	西都市

実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単				
事業費 (百万円)	全体事業費	国費	県費	その他	一般財源
	4,100	2,665	1,435		
事業期間	事業着手	目標完成年度			
	H27	H33			

総合長期計画上の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
細項目名	安全で安心な県土づくり
	地域交通の確保
	中山間地域の活性化

全体計画

一般国道219号は熊本県熊本市を起点とし、熊本県湯前町、西米良村、西都市を經由し宮崎市に至る幹線道路であり、地域の産業・経済を支えるほか、南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には、県内外からの救命・救急・物資の輸送などを行う緊急輸送道路の横軸を担う「命の道」として優先的に啓開する道路に指定されている重要な路線である。

しかしながら、西都市瓢丹淵から西米良村横野間の大部分が、未改良区間として残されていることから、早急に道路整備を行う必要がある。

『計画延長 L=1.0km W=5.5(7.0)m』

事業目的

当該工区は、トンネルを含め、幅員が狭い上に線形が悪く、大型車の離合が困難な状況である。また、道路防災総点検要対策箇所が点在しており、異常気象時には災害による交通途絶が発生している。このため、幅員狭小・線形不良等の隘路区間や災害等の危険性を解消し、緊急輸送道路としての機能向上を図るとともに、災害による孤立集落の解消や安全安心な交通の確保を目的とした道路整備である。



事前評価シート

事業名	道路事業
箇所名	国道219号 岩下工区

(1) 事業の重要度に関する評価

評価の視点	評価項目	審査項目	判断基準	配点	評価点
成立性	①上位計画との関連性に関する事項	○国・県レベルの計画に関する事項	別表1) 参照	8	8
		・広域道路整備基本計画での位置付け	○		
		・1.5車線の道路整備との関連性			
		・国家的プロジェクトとの関連性	○	8	8
		・国の重点施策との関連性	○		
	○市町村レベルの計画に関する事項	別表2) 参照	4	4	
	・市町村総合計画(建設計画)での位置付け	○			
	・都市マスタープランでの位置付け		4	4	
	・市町村のプロジェクトとの関連性				
	○県総合長期計画に関する事項	別表3) 参照	3	3	
②他事業との関連性に関する事項	○他事業等との関連に関する事項	別表4) 参照	5	0	
	・大規模公共施設関連道路				
	・農林道一体整備道路				
	・他事業との関連性		5	0	
	・市町村合併支援道路				
小計				20	15
必要性有効性	③事業による効果に関する事項	○道路位置付けに関する事項	別表5) 参照	13	10
		・地域高規格道路			
		・都市計画道路		13	10
		・緊急輸送道路	○		
		○道路の機能に関する事項	別表6) 参照	12	12
	・地域高規格道路へのアクセス強化				
	・バス路線	○			
	・大型車とのすれ違い	○			
	・孤立化する集落の解消	○	12	12	
	・特殊車両指定道路				
	・ネットワーク形成				
	・代替道路				
	○交流・連携の強化に関する事項	別表7) 参照	13	13	
	・県際道路の整備				
	・高速道路関連整備				
・公共交通機関関連道路					
・物流拠点へのアクセス強化					
・観光地へのアクセス	○	13	13		
・広域構想等に資する道路					
○生活環境を改善する事項	別表8) 参照	11	11		
・2・3次救急医療施設へのアクセス強化	○				
・道路防災総点検対策箇所	○				
・渋滞対策プログラム箇所					
・歩行者の安全性向上					
・雨量規制区間	○	11	11		
・振動、騒音の緩和					
○道路現況の改善に関する事項	別表9) 参照	11	6		
小計		5	0		
・交通量					
・混雑度		5	0		
・通学路					
小計	別表9) 参照	6	6		
・事故多発区間	○				
・改良率	○	6	6		
④環境への影響に関する事項	○自然環境への影響に関する事項	別表10) 参照	2	2	
	・自然環境保全地域または緑地環境保全地域内の事業	○	2	2	
	○環境への配慮、保全に関する事項	別表10) 参照	8	8	
	・緑化や景観	○	2	2	
	・建設副産物発生抑制、再利用	○	2	2	
・生態系	○	2	2		
・騒音・振動・水質汚濁	○	2	2		
小計				70	62
実行性	⑤地元からの要望活動に関する事項	○地元要望の熱意に関する事項	別表11) 参照	5	5
		・要望活動に関する事項	○	5	5
	⑥事業計画への住民参加に関する事項	○合意形成の有無と住民参加への熱意に関する事項	別表12) 参照	5	5
		・1.5車線の整備で地元合意が取られている			
		・都市計画道路である			
・地元の協力体制が文書で報告済みである	○	5	5		
・区画整理事業、ほ場整備区域内である					
・計画段階からPIを導入している					
・用地区域5割以上の買取了解を取り付けている					
小計				10	10
合計				100	87

(2) 事業効率に関する評価

評価項目	評価結果
費用対効果 (B/C)	1.1

(3) 総合評価

評価項目による判定結果		判定結果
重要度ランク	I	新規事業として事業実施可能
事業効率	B/C=1.1	